

主な質問・回答集

1. ハード面での疑問・提案など

Q. なぜ魚香池跡広場に建設する事になったのですか。

A. 千里丘地域での図書館整備につきましては、長年にわたり地元の皆様や議会からの強い要望もあり、また図書館協議会からも利用不便地域として、整備の必要性が指摘されていました。毎日放送跡地が適地ではないかと検討しましたが、坂道の途中にあり交通量も多いなど安全性や利便性の面で断念し、その後地元の皆様のご意見を聞く中で、魚香池跡地広場が適地であると判断しました。

Q. なぜ3階建てにしなかったのですか。

A. 3階建てにすると、隣接家屋への圧迫感が強くなり、日影規制を含めて近隣に与える影響が大きいため断念しました。3階建てを含め様々な構造や工法の検討を行いました。2階部分を東に張り出した構造とする事で、柱の少ない広い空間のとれる、2階建てを選択しました。

Q. 出張所との合築は考えなかったのですか。

A. 千里丘出張所は築後24年が経過しておりますが、財政的にも厳しい折、千里丘出張所の建替えは時期尚早との判断をしました。

Q. 将来、出張所建替え時に、図書館を広くする計画はありますか。

A. 将来の地域住民の皆様の行政需要によって何が必要になってくるかといったこともございますので、その時点での十分な論議が必要ではないかと考えております。

Q. 対面朗読室を是非設置してほしい。音訳ボランティアが利用できる録音機材も揃えてほしい。

A. 他の市立図書館と同様に、視覚障がい者などに対しては、対面朗読サービスを実施したいと考えております。また、対面朗読室につきましては、防音に配慮した部屋の確保や、音訳用の録音機材などの配備を目指したいと考えております。

Q. バリアフリー化はどのようになりますか。

A. エレベーターの設置、玄関前のスロープや出入り口の段差解消などの他、点字ブロックや聴覚障がい者対応の避難誘導灯を設置する予定です。その他、市内図書館としては初めて授乳室の設置や、簡易オストメイト付の多目的トイレの設置を考えています。

Q. 駐車場の地下化や、屋上の有効利用はどうなりますか。

A. 建物の地下利用は、主に建築費用のことから断念いたしました。雨水利用タンクを床下に設けるとともに、屋上には太陽光発電パネルの設置と緑化を施し、低炭素社会に貢献できるエコ図書館を目指します。隣接家屋のプライバシーへの配慮や、危険防止のため、屋上は自由に使用していただく事はできませんが、見学などができるようにして、啓発のための環境学習の場として、利用できるようにして行きたいと考えています。

Q. しゅん工までの、今後のスケジュールはどうなるのでしょうか。
A. 平成23年(2011年)3月議会で工事予算を審議いただき、承認をいただければ、同年7月議会で工事契約の承認をいただいた後、約10ヶ月の工事期間を経、その後書架ならびに、図書やCD・DVDなどの搬入設置、といった開館準備期間を経て、平成24年度中の供用開始を目指しております。供用開始時期がはっきり決まり次第、お知らせいたします。
Q. 事務室の場所と広さはどのように考えていますか。
A. 事務室は2階に設置する予定で、広さはおよそ60㎡必要と考えています。図書館の事務室は、購入図書の検品や資料の修理などの作業場としての機能も必要となりますので、見合った広さが必要となります。
Q. 少しでも面積を増やしてほしい。
A. 当初の基本設計(案)より建築面積を増やすとともに、書庫の配置や会議室の見直しなどを行った結果、全体で約50㎡増え延床面積が712.71㎡となり、閲覧室を約13㎡増やしました。
Q. ゆっくり座って読書ができるよう、プライバシーに配慮しながら座席を増やしてほしい。
A. 閲覧部分約430㎡に対し、60席以上を確保したいと考えています。ちなみに、江坂図書館が閲覧部分が357㎡で42席となっています。また、閲覧机にも簡単な間仕切りを設けるなど、プライバシーにも配慮した家具を配備したいと考えています。
Q. 駐車場はどうなりますか。
A. 現在、身障者用を含めて出張所が4台、市民センターが19台の合計23台となっています。建設後は出張所4台、市民センター15台、図書館4台の合計23台分が確保できる見込みです。現在、他施設の駐車場の管理方法を参考にしながら、隣接する施設間で、有効利用と適正利用について話し合いを進めているところです。
Q. 自転車のとめる場所は十分にありますか。
A. バイクと原付の置き場3台分を含めて20台の自転車置き場スペースを確保します。
Q. ちょっと有ると便利な什器備品について。
A. 什器備品類については、わかりやすく使いやすいものと考えていますが、買い物帰りにちょっと図書館へ、といった利用ができるように、個人ロッカーの設置ができないか、場所の確保を検討しているところです。
Q. 外観はどんな感じになるのでしょうか。
A. 2階部分を市民センター駐車場に約5m張出した構造として、2階部分の面積を可能な限り広げました。張出した2階東側は全面ガラスで、明るくゆったりと読書を楽しんでいただけるかと思えます。地域の景観にも配慮しながら、はじめて訪れたひとと思わず足を踏み入れたくするような、魅力的な建物にしたいと考えています。

2. ソフト面での意見・提案など

Q. 利用対象人口や吹田市立図書館網の中での位置づけはどのように考えていますか。

A. 利用対象者は、千里丘地区にお住まいの3万数千人と考えています。実際の利用人数は、奉仕対象範囲の東半分が他市に当たるという事もあると、予想が難しいところです。吹田市立図書館網の位置づけは、新しくできる子育て青少年拠点夢つながり未来館の中に開設されます、山田駅前図書館と一体的に運営される分館もしくは分室となります。開館日、開館時間や所蔵資料数、行事などのサービスについては、他の市立図書館と同等になるよう、検討しているところです。もちろん、資料の提供などでは、府立図書館や国立国会図書館との連携や相互貸借も念頭において、皆様のご要望に応えられるような体制を目指します。

Q. どんなコンセプトの図書館ですか。

A. 「やさしい」をコンセプトに、音訳ボランティアさんや、読み聞かせボランティアさんを含め、様々なボランティアさんとともに、地域に密着した「環境にやさしい・子育てにやさしい・障がい者にやさしい・高齢者にやさしい」地域の図書館を目指します。乳幼児からお年寄りまで、気軽に立ち寄れて、ゆっくりと利用していただける図書館づくりを目指したいと考えています。

Q. 収容冊数など、他の図書館と比較しながら示してほしい。

A. 別紙の「(仮称)千里丘図書館の基本設計と類似館との比較」をご参照ください。ただし、図書やCD・DVDなどの購入はしゅん工年度の予算措置となりますので、冊数や点数はいまのところ未確定です。

Q. 視聴覚資料(CDやDVDなど)の予約は出来ないのですか。

A. 視聴覚資料は、(仮称)千里丘図書館でも導入する予定です。現在のところ予約できませんが、平成23年(2011年)1月より、本や紙芝居と同様に、全館で予約して借りていただけるようにする計画です。

Q. 多目的室の個人利用は申し込めますか。

A. 多目的室は、図書館主催の行事やブックスタートのひろば、並びに読書会やボランティア活動など、図書館事業に関する利用に使っていただくための部屋で、個人の利用は考えておりません。

Q. 職員配置や運営体制はどのようになりますか。

A. (仮称)千里丘図書館の運営には、8名程度の職員が必要と考えていますが、運営につきましては業務の効率化を図りながら、利用者サービスの向上につながるよう、様々な手法を検討していきたいと考えております。

Q. ゆめぶんこ(自動車文庫)の駐車場はなくなるのですか。

A. 現在千里丘地域には、13ヶ所の駐車場所を設けていますが、(仮称)千里丘図書館の供用開始によって、全てがなくなる訳ではありません。半分程度の駐車場は、存続する計画です。

<p>Q. 蔵書はどのようにして決めるのですか。既存館では予約した本がなかなか届きませんが。</p>
<p>A. 年間約8万冊の本が出版されます。毎週、各種書評や出版会社からのパンフレットなどを参考にしながら、どんな本がよく借りられるか各館の利用状況を司書が加味して、全館的に調整して厳選しています。そのほかに、皆様から頂戴した要望や予約をもとに購入する本があります。文学全集などを利用者から推薦いただき購入する場合もございます。ベストセラーの購入では、予約の順番をお待ちの人数を考慮しながら複本を購入し、少しでも早くご提供できるように努力していますが、予算との関係でご要望どおり購入できない場合もあり、お届けが遅くなる事があります。</p>
<p>Q. ブックスタートやその他、ボランティアが気軽に参加できるようにしてほしい。</p>
<p>A. 図書館では、たくさんのボランティアさんに手助けをしていただいています。音訳や点訳などの活動に12団体約210名、ブックスタートのひろばなどの児童関係の活動に10団体約230名、その他に2団体約20名が、活動されています。(仮称)千里丘図書館においても、気軽にご参加いただけるような方策を図り、既存グループとの調整や新規募集の計画なども合わせて検討して行きたいと考えています。</p>
<p>Q. 資料の寄贈を積極的に受付してはどうか。</p>
<p>A. 図書館では毎年の増加冊数4万数千冊の内、郷土資料や未所蔵本などを中心にして、数千冊を寄贈本として受入れしています。ビデオやCDは著作権上の問題などがあり、頂戴しても利用できませんが、今以上にPRに努め、市民の皆様方のご協力をお願いしたいと考えています。</p>
<p>Q. 地域の人口は増えるが、子育ての相談場所もなく図書館への期待は大きい。</p>
<p>A. 南山田地区のマンション建設ラッシュに続き、毎日放送跡地での開発などが進むなか、引き続き子育て世代が増える事が予想されますが、平成23年(2011年)3月に阪急山田駅前ができる、「子育て青少年拠点 夢つながり未来館」が子育て支援機能を盛り込んだ施設と位置づけられており、この中にオープンします山田駅前図書館も、連携して運営する予定となっておりますので、ご利用いただければと存じます。なお、(仮称)千里丘図書館としても、ブックスタート事業などの乳幼児サービスを通じて、お母さんや地区住民の皆様同士の情報交換や相互協力のお役に立てるよう、情報収集や資料提供をしてゆきたいと考えています。</p>
<p>Q. 他の地域に先駆けた、誇れる機能を持たせてほしい。</p>
<p>A. ハード面では地球温暖化対策を施した、エコ機能を有した施設となりますので、それらを利用した環境学習が可能になり、今までの図書館にはない、地域住民に対する啓発その他の貢献ができるものと考えています。その他、高齢者や障がい者に対して、図書館側が出かけていって行うアウトリーチサービスなども、他の館に先駆けて検討して行きたいと考えています。</p>
<p>Q. 住民や利用者の声を聞く場を設けてほしい。</p>
<p>A. 利用者の方々や、地域にお住まいの皆様の声を大切にしながら、図書館運営をして行きたいと考えています。他市の事例も参考にしながら、意見交換ができる懇談会のような会合を、定期的で開催できればと考えています。</p>
<p>Q. JR千里丘駅に返却ボックスを設置してはどうか。</p>
<p>A. 返却ボックスを他の施設に預けるのは、場所の確保や物流のほかセキュリティの問題などが生じる他、本の回収に必要なコストなども考えますと、すぐには実現するのが難しいものと考えます。</p>